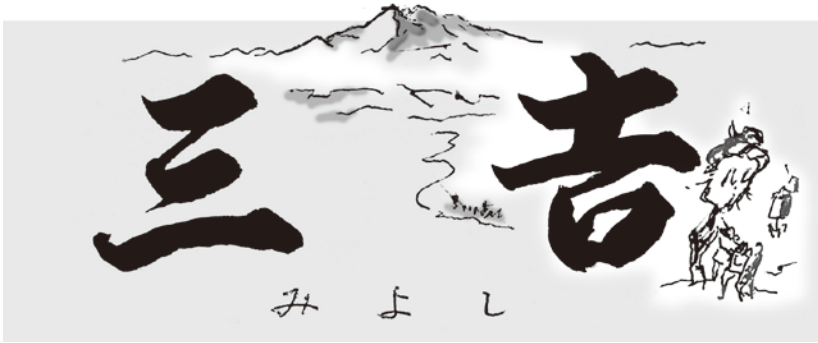




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>

梵天祭案内号

令和7年三吉梵天祭

猛暑が過ぎ去ってから、当地秋田をはじめてとする各地でクマが街中のあちこちに出没し、ひと騒ぎとなっている。当社も止むを得ず、秋を前に栗などの木を伐採していた。▽奥宮が鎮座する太平山頂上付近にも勿論クマは出るが、山頂勤務の際、遠くに見かけることはあっても（山菜採りの方は別として）登山中の大きな事故は聞いたことがない。▽市街地周辺に生息する、いわゆるアーバンベアは、人の気配を警戒したり、その姿を見て逃げたりすることがない。むしろ自ら人間との距離をつめて、襲いかかってくることもあると言う。集計によると、今年に入ってから死傷事故の約七割が人里でおきている。▽原因は木の実の凶作に加えて、温暖化に伴う自然環境の変化、山村の過疎化による里山の荒廃、シカ等の爆発的な繁殖によるエサ不足など多岐に亘る。▽里の味を知ったクマは、何より人命を守るために、早急な駆除が必要だ。保護を求める声もある中で、この残念な状況を今後も繰り返すことがないように。生活圏における目先の対応とあわせて、クマや関係動物の個体数管理や森林整備などの抜本的な対策が求められている。

迎える令和八年が、大きな災害や事故・事件のない、穏やかで平和な年となりますように。益々のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

宮司 田村 泰教

地元シリーズ

太平山三吉神社と清酒太平山

責任役員 小玉 真一郎



私は秋
田市千秋
矢留町に
住んでお
ります。

窓から霊峰太平山を毎朝望んでいます。美しい山容に心が洗われる気がします。

私の会社、小玉醸造株式会社は清酒太平山を醸造しております。只今、今年の酒造りの真っ最中で蔵人の張り詰めた空気が酒蔵を占めています。我が社は明治12年（1879年）に創業しました。そのときにはヤマキウ味噌、醤油の製造を主な仕事としていました。当時醤油には国税が課せられており、造石税といって造った分に課税するというやり方だったため税務署職員が頻繁に醤油の製造状況を調べに来社していたようです。そ

のころ弊社の近くに造り酒屋がなかったことから税務署から酒の醸造を始めないかという誘いをいただきました。

醸造報国を旨としていた私の曾祖父、小玉友吉は清酒の醸造を開始することになりました。それが大正2年（1913年）です。最初酒の名前を金剛と決めたのですが既に金剛は商標が他社に取得されていることが判り、困っていたときに税務監督局の国松という技手が「私は毎日太平山を眺めてその姿に感じ入っている。酒の名前に困っているのであれば太平山にするのがよいと思う。」という推薦があり、さっそく太平山三吉神社をお訪ねし、太平山を酒の名前に使うことのお許しをいただきました。太平山の商標を取得し無事清酒の販売にこぎつけるこ

とができたのです。

爾来弊社役員は太平山三吉神社の責任役員を務めてまいりました。私も役員を拝命しており、少しでも神社のお役に立てるよう務めております。ブラジルで東麒麟という清酒が醸造されています。東麒麟は現在「東（アズマ）」と名前が変わりましたが、日本国外で最も古い清酒醸造所です。この会社の技術者が当社で何人か研修を受けてブラジルに赴任しています。ブラジルにも三吉神社があり、現地の日系人の心の拠り所となっています。三吉信仰が地球の裏側まで届いています。この広がりを大切にして神社を守っていきたいと思っております。

（小玉醸造株式会社

代表取締役社長）



屋根は鬼瓦

● みよしスケッチ ●



秋季例大祭
十月十六日・十七日



古くなった印鑑や表札を供養いたしました。

印章供養祭
十月一日



愛着のある人形に感謝を捧げる神事を行いました。

人形感謝祭
十月一日



七三詣



第二十回三吉節全国大会
九月十二日



村梵天奉納打合せ 十一月八日



三吉梵天祭打合せ会 十一月十日
令和八年三吉梵天祭の打合せを行いました。



神宮大麻頒布始奉告祭
春祈禱打合せ

十一月十日



自衛警備隊総会 十一月三十日



神符守札遷霊清祓式 十一月十八日



協力会境内整備作業 十一月二十五日



城東中学校職場体験 十一月十一日



北都銀行バドミントン部
必勝祈願 十一月二十九日

年末年始のご参拝にあたり

未だ新型コロナウイルス感染症は終息に至らず、インフルエンザもこれから流行期を迎えます。

特に持病などをお持ちの方やご高齢の皆さま、また妊産婦の方々には、十分にご注意の上、お参り頂きますようご案内申し上げます。

●授与料改定について

- ・昨今の材料・奉製費や人件費等の高騰を受け、誠に不本意ながら、令和7年11月1日より守札・縁起物の授与料を改定させて頂きました。
- 何卒、諸事情をご賢察の上、ご理解下さいますよう、切にお願い申し上げます。

●お守り・お札の授与について

- ・新年のお札・お守り・縁起物は、11月20日から授与を開始いたします。
- ・12月下旬～1月中旬の間は、神社正面向かって右側に臨時授与所を開設いたします。
- ・三が日や多忙日は、神社正面階段下と東側武道場にも授与所を設けますので、空いている所をご利用下さいませ。

●祈祷者の感染対策などについて

- ・社殿内各所に、引続き空間除菌機と加湿器を設置しております。
- ・ご希望の方用に、手指消毒用のアルコールを準備しております。
- ・厳冬期、手水舎を閉鎖いたします。
- ・祈祷の際は、係の誘導に従い適度な距離を空けてお座り頂きます。
- また、祈祷の際は、玉串拝礼後に順次ご退出頂く場合がございます。

●各種ご祈祷について

- ・明年は1月5日・6日に会社・法人関係のお参りが集中することが見込まれます。もし可能でしたら、個人やご家族で祈祷を受けられる方は、その両日を極力お避け下さいませ。
- ・ご家族や団体さま毎にご着席頂きます。
- ・企業や団体の皆さまのご祈願祭は、仕事始めの（1月5日～7日）の期間は、各団体5名様までの参列とさせて頂きます。その他の日で人数が多い場合は、担当/本庄までお問合せ下さい。

(年末年始) 郵送祈祷・守札のお申込みについて

電話や郵送・インターネットからの祈祷並びに授与品の申込みは、人員不足等の事情から、年内に送付をご希望の方は11月末日、新年発送ご希望の方は12月10日までに申し込みをお願いいたします。

(12月11日～令和8年1月18日の間は、受付を中止いたします)

何卒、ご理解ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

厄年・年祝いのご案内

厄年のお祓いや還暦・古稀などの年祝いを迎えられた方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。(団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。)

令和8年 丙午（ひのえうま） 厄年・年祝い一覧

	干支	男性	女性	年齢(かぞえ)
昭和 3 年生	辰（たつ）	白 寿（はくじゅ）		9 9 歳
昭和 1 2 年生	丑（うし）	卒 寿（そつじゅ）		9 0 歳
昭和 1 4 年生	卯（うさぎ）	米 寿（べいじゅ）		8 8 歳
昭和 2 2 年生	亥（いのしし）	傘 寿（さんじゅ）		8 0 歳
昭和 2 5 年生	寅（とら）	喜 寿（きじゅ）		7 7 歳
昭和 3 2 年生	酉（とり）	古 稀（こき）		7 0 歳
昭和 4 0 年生	巳（へび）	後 厄		6 2 歳
昭和 4 1 年生	午（うま）	還 暦（かんれき 大厄）		6 1 歳
昭和 4 2 年生	未（ひつじ）	前 厄		6 0 歳
昭和 5 9 年生	子（ねずみ）	後 厄		4 3 歳
昭和 6 0 年生	丑（うし）	大 厄	厄	4 2 歳
昭和 6 1 年生	寅（とら）	前 厄		4 1 歳
昭和 64年・平成元年生	巳（へび）		後 厄	3 8 歳
平成 2 年生	午（うま）	厄	大 厄	3 7 歳
平成 3 年生	未（ひつじ）		前 厄	3 6 歳
平成 5 年生	酉（とり）		後 厄	3 4 歳
平成 6 年生	戌（いぬ）	厄	大 厄	3 3 歳
平成 7 年生	亥（いのしし）		前 厄	3 2 歳
平成 1 3 年生	巳（へび）	後 厄		2 6 歳
平成 1 4 年生	午（うま）	大 厄	厄	2 5 歳
平成 1 5 年生	未（ひつじ）	前 厄		2 4 歳
平成 1 9 年生	亥（いのしし）		後 厄	2 0 歳
平成 20年生（成人）	子（ねずみ）	厄	大 厄	1 9 歳
平成 2 1 年生	丑（うし）		前 厄	1 8 歳
平成 2 6 年生	午（うま）	十三参り		1 3 歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず
新年を迎えると一つ年をとります。



どんど祭

1月25日
(日)

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、或いは古い神札・お守りなどをお焚き上げいたします。当日ご都合のつかない方は、事前に古神札納所にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物・写真など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。

- 人形類は 10 月 1 日の人形感謝祭にお持ち下さい。
- 環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

令和8年 上半期主な祭典・行事予定

1月1日(木)	午前零時	歳旦祭	新年の始まりに国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月17日(土)	神事 午前6時 奉納 午前10時半~正午	梵天祭	1年の無病息災と安泰を祈り、梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事(8頁参照)
1月25日(日)	午前10時	どんと祭	古くなったお札やお守、お正月の縁起物などをお焚上げいたします(6頁参照)
2月3日(火)	午前10時	節分祭	季節の変わり目にあたり、身体健やかに、心穏やかに、過ごせますよう福豆をまき供えて除災招福を祈ります
2月11日(水)	午前9時	紀元祭	神武天皇建国の偉業を偲び、国の弥栄と世界の平和を祈念いたします
5月7日(木)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穡を始め家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(金)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月30日(火)	午後3時	夏越の大祓	一年の上半期締めくくりに、身に積もった罪けがれを祓い清めます

師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを祓い清め、心清々しく令和五年を迎え、穏やかな一年になることを祈ります。
ご多用とは存じますが、是非ご参列下さいますようお願い申し上げます。

記

日時 十二月三十一日(水) 午後二時
於 神社拝殿

○ご都合のつかない方は、

形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。



※形代(かたしろ)は神社にごぎいますので、必要な数をご連絡下さい。

秋田市赤沼
三吉
梵天祭
ぼんでん

ぼんでん

秋田市赤沼

人に押し負け
大きらい

雪国の静寂を打ち破って
厳寒の一月、
藤田嗣治「秋田の行事」にも
描かれた秋田の冬の風物詩
「ぼんてん」が行われる。
力の神・勝負の神を祀る
太平山三吉神社の
例祭に奉納される梵天は
六十本余り。
意匠をこらした梵天は、
数十人の男たちを従え、
雪の町を練った後、
神社に集結する。
二人に押し負け大きらいと
三吉節も高らかに、
法螺貝とジヨヤサの掛け声が
勇ましく轟くなか、
万を越す観衆の前へ、
十余りの梵天が踊り乱れ、
男たちは波となつて激しくもみ合う、
一年の幸を願う熱い祭は、
今年も一足早い春を呼ぶ。

令和8年

1月17日(土)

●奉納時間：午前10時30分～正午
※小さなお子さま全員にお守りを差し上げます



太平山三吉神社総本宮

秋田県秋田市広面字赤沼3-2 ☎018-834-3443 <http://www.miyoshi.or.jp>